

誰もが楽器に親しめる

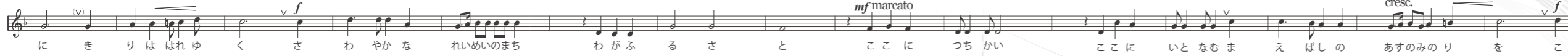
前橋の音楽教育

県内で強豪校として知られる高校吹奏楽部が数多く存在する本市。その中でも最も歴史が長く、輝かしい実績のある前橋商業高校の吹奏楽部を紹介します。

前橋商業高校 吹奏楽部

前橋商業高校吹奏楽部は、昭和10年に創部。吹奏楽コンクールでは、過去に7年連続（昭和49年～55年）全国大会に出場し、3年連続（昭和53年～55年）金賞を受賞するなど輝かしい成績を残しました。その伝統は今もなお健在し、5年連続県代表として西関東大会Aの部に出場。また、マーチングでも県代表として西関東大会に4年連続出場し、ことしは銀賞を受賞しました。

伝統を受け継ぎつつ、新たな「前商サウンド」を求めて日々努力を重ねている同部は、地域に根ざした活動も盛んに行っています。商工会議所とタイアップしたまちなかコンサートでは、生徒が企画・運営を行い中央通り商店街などで定期的



インタビュー

本市出身の漫画家

神海英雄さん

神海さんは本市出身の漫画家で、現在「週刊少年ジャンプ（集英社）」にて吹奏楽をテーマにした漫画『SOUL CATCHER(S)』を連載中。小学生の時から吹奏楽に打ち込み、今も音楽を愛してやまない神海さんに取材しました。

吹奏楽に打ち込んでいた頃のエピソード

小6の時バリトンサクソスを担当していました。重い楽器を演奏しながらパレードやマーチングで行進することは暗譜すること以上に大変でしたが、小学校の音楽の先生がよく褒めてくださる方で、今でも音楽が好きなのは、その先生のおかげが大きいです。

また、中2の時にアンサンブルコンテストで西関東大会に進出したことは、責任感を持って真面目に一生懸命頑張れば、良い結果はついてくるんだと知ることができた、とても良い経験でした。

それから吹奏楽部員とはよく衝突しました。真剣な者同士がぶつかるのは当たり前で、生きていく上で非常に貴重な体



©神海英雄 / 集英社

験だったと感謝しています。**神海さんにとって、音楽の素晴らしさとは**、音楽を聴いたり演奏したりすることで、大作曲家が生きた時代を感じることで、きたり、世界各国の息吹、伝統、文化を感じることもできたり、SF世界やファンタジー世界にすら入り込むことができる場所へ一瞬でつれて行ってくれる、音楽から感情が伝わる。その観点から音楽は万国を結ぶ架け橋であ

ると考えております。『SOUL CATCHER(S)』では、そういった音楽が元々持っている魅力を表現しようとしています。**市民の皆さまへのメッセージ** 僕が音楽を好きになり、今も音楽に関わっていたいと強く思っているのは、小学校時代から音楽に触れる機会がたくさんあった前橋で、青春時代を過ごしてきたからだと思います。僕はとても誇りに感じています。これからは変わらず前橋の「音楽を愛する心」を市民の皆様で育み、前橋市の歌『赤城嶺に』の歌詞に「声高くともに歌おう」とあるように、僕もその心を共有できたらいいなと考えております。



に演奏会を開催。前橋まつりでも演奏を披露するなど、地域のイベントにも積極的に参加しています。毎年恒例の定期演奏会は、12月22日(日)・23日(月)にベイシア文化ホールで開催します。熱い前商サウンドを聴きに、ぜひ、お出掛けください。

前橋まつりの鼓笛パレード

本市では、全小学校の音楽教育に鼓笛演奏を取り入れています。これは、子どもたちが自然と楽器に興味を持ち、音楽に親しむきっかけとなっています。

前橋まつりには、毎年全市立小学校が出場し、堂々とした素晴らしい鼓笛パレードを披露しています。



井上武士

明治27年～昭和49年(享年80歳)

日本中で愛され親しまれている童謡「チューリップ」。来年4月から、JR前橋駅で電車の発車メロディーになる予定のこの曲は、本市出身の作曲家・井上武士が作曲したものです。このほかにも、「うみ」をはじめ数々の童謡を作曲し、名作を残しています。また、井上武士は、作曲家としてだけでなく、大正・昭和の優れた音楽教育家であり、現代日本の学校音楽を作り上げた偉大な指導者でもありました。